



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

上場会社名 株式会社ストライダーズ
 コード番号 9816
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理本部長
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <https://www.striders.co.jp/>
 (氏名) 早川 良太郎
 (氏名) 大黒 基司 TEL 03 (5777) 1891

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,935	4.8	3	△55.7	35	15.6	18	74.5
2024年3月期第1四半期	1,846	2.9	7	△62.1	30	△44.3	10	△45.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 19百万円(31.3%) 2024年3月期第1四半期 14百万円(△39.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	2	27	-	-
2024年3月期第1四半期	1	28	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期第1四半期	百万円 4,481	百万円 2,514	% 55.5	円 銭 302.21
2024年3月期	4,629	2,540	54.3	304.72

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,487百万円 2024年3月期 2,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	0.3	100	101.2	140	37.6	100	21.2	12.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
新規 一社（社名）、除外 一社（社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期1Q	8,912,089株	2024年3月期	8,912,089株
2025年3月期1Q	682,269株	2024年3月期	660,359株
2025年3月期1Q	8,237,595株	2024年3月期1Q	8,387,182株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかに持ち直しつつある一方で、米中関係の悪化などに起因するグローバルサプライチェーンの分断化、ならびにウクライナ情勢に端を発する世界規模での供給面での制約が顕在化し、欧米を中心とした物価上昇と金融引締めが続くなか、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや、為替相場をはじめとした金融資本市場の変動等による影響に十分注意していく必要があります。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）では、こうした足元のマクロ経済環境に注視しつつ、日本とアジアをつなぐゲートウェイとしての役割を担うという経営方針の下、国内外における投資機会の発掘及び海外投資家とのアライアンスを強化する一方で、グループ中核事業の再定義やその成長戦略の立案と推進、継続した経営の効率化などに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高1,935百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益3百万円（前年同四半期比55.7%減）、経常利益35百万円（前年同四半期比15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円（前年同四半期比74.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、マンションオーナー向けのリーシング・賃貸管理及びマンション建物の受託管理を行なうレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を、株式会社東京アパートメント保証において家賃保証事業を営んでおります。

レジデンス事業は、前年同期比でサブリース賃貸借契約の賃料水準に大きな変化はなく、また空室率もさらに低下しましたが、管理戸数が減少したことで減収減益となった一方で、不動産売買事業においては増収増益となりました。

また、主力のレジデンス事業のほか、家賃保証事業の事業規模の拡大に伴い、前年同期比で増収増益となり、不動産事業の収益性の向上に寄与いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は、不動産売買事業の増収を主要因として1,580百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、営業利益は、レジデンス事業の管理戸数の減少を主要因として50百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

② ホテル事業

ホテル事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。

成田ゲートウェイホテルは、2023年6月に新型コロナウイルス感染症の療養者施設から通常の営業へと移行した後、段階的な稼働率の向上に努めてまいりました。立ち上がり期間を経て、客室稼働率が大幅に上昇した結果、2023年4月、5月は療養者施設、2023年6月は営業再開初月であった前年同期と比べ、売上高は顕著に増加いたしました。一方で、営業利益については、委託運営から自社運営への切り替えの過程で、未だ収益性改善の余地が残されていること、また個人客の集客強化及びオペレーションの効率化の一環として、2024年6月に基幹システムを刷新し、導入初月である同月の稼働を抑えたことから、前年同期と比べて減益となりました。

一方、倉敷ロイヤルアートホテルは、料飲部門の回復により前年同期に比して売上高は増加したものの、当第1四半期連結累計期間に多数の設備部品の買い取り、設備の入れ替えを行なったこと、人材戦略に基づき新卒採用を積極的に行なったことに伴い販管費が増加した結果、増収減益となりました。なお宿泊部門では、客室稼働率は上昇した一方で、倉敷エリアの競合ホテルの値下げ動向を回避できず、客室平均単価を引き下げた結果、売上高は前年同期比で微増に留まりました。

これら両ホテルの業績を合わせた結果、売上高は伸長したものの成田ゲートウェイホテルにおける稼働の抑制、並びに倉敷ロイヤルアートホテルにおける販管費の増加を主要因として、セグメント全体では増収減益となり、当第1四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は282百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益7百万円）となりました。

③ 投資事業

当社グループの投資事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において国内投資事業を、STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. において海外投資事業を営んでおります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き日本国内の事業承継やインバウンド投資の案件発掘を進めつつ、具体的な活動として、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社においては、石川県加賀市のリゾートホテル ホテルアローレへの業務支援を開始いたしました。また、STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. においては、今秋のファンド立ち上げに向けた準備を進めております。

なお、当第1四半期連結累計期間における新規の投資はありません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の投資事業の売上高は計上されておられません（前年同四半期も売上高は計上されておられません）。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円減少しました。これは主に現金及び預金が242百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は1,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加しました。これは主に敷金保証金が30百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は890百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が216百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は1,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加しました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円を計上した一方で、剰余金の配当41百万円を実施したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,108,737	1,866,711
売掛金	211,919	172,510
有価証券	130	142
棚卸資産	25,895	57,228
その他	367,310	427,725
貸倒引当金	△4,930	△2,885
流動資産合計	2,709,063	2,521,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	875,103	856,234
土地	515,733	515,733
その他（純額）	77,100	97,096
有形固定資産合計	1,467,937	1,469,064
無形固定資産		
のれん	83,252	81,221
その他	8,054	17,335
無形固定資産合計	91,306	98,557
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
関係会社株式	56,511	49,906
長期貸付金	100,000	100,000
繰延税金資産	28,728	28,706
その他	169,869	208,687
貸倒引当金	△3,827	△4,421
投資その他の資産合計	361,282	392,878
固定資産合計	1,920,527	1,960,500
資産合計	4,629,590	4,481,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,690	92,422
短期借入金	3,340	—
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	372,025	156,008
未払費用	86,919	127,950
契約負債	245,055	237,834
未払金	75,086	73,660
未払法人税等	8,135	17,826
賞与引当金	25,500	11,471
預り金	108,008	98,550
金利スワップ	690	0
その他	54,719	55,169
流動負債合計	1,102,171	890,894
固定負債		
長期借入金	660,308	759,143
退職給付に係る負債	11,918	12,071
長期預り敷金保証金	130,785	124,994
繰延税金負債	142,065	140,642
その他	41,490	40,098
固定負債合計	986,567	1,076,950
負債合計	2,088,739	1,967,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585,938	1,585,938
資本剰余金	109,730	109,730
利益剰余金	996,308	973,754
自己株式	△196,453	△201,286
株主資本合計	2,495,524	2,468,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△415	△408
繰延ヘッジ損益	△690	△0
為替換算調整勘定	20,061	19,385
その他の包括利益累計額合計	18,955	18,976
新株予約権	1,200	1,200
非支配株主持分	25,170	25,775
純資産合計	2,540,850	2,514,088
負債純資産合計	4,629,590	4,481,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,846,163	1,935,071
売上原価	1,394,959	1,440,720
売上総利益	451,203	494,351
販売費及び一般管理費	443,550	490,960
営業利益	7,653	3,390
営業外収益		
受取利息	109	1,813
受取手数料	7,655	12,785
為替差益	12,451	19,917
持分法による投資利益	1,264	138
その他	5,129	1,422
営業外収益合計	26,610	36,078
営業外費用		
支払利息	2,966	3,485
社債利息	397	29
その他	214	471
営業外費用合計	3,578	3,986
経常利益	30,685	35,482
特別利益		
固定資産売却益	212	—
特別利益合計	212	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	30,897	35,482
法人税、住民税及び事業税	22,939	17,572
法人税等調整額	△1,785	△1,399
法人税等合計	21,153	16,173
四半期純利益	9,744	19,309
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△975	605
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,719	18,704

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	9,744	19,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,432	—
繰延ヘッジ損益	679	689
為替換算調整勘定	2,773	△675
持分法適用会社に対する持分相当額	△904	6
その他の包括利益合計	4,981	20
四半期包括利益	14,725	19,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,701	18,725
非支配株主に係る四半期包括利益	△975	605

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,522,527	250,391	—	1,772,918	73,244	1,846,163	—	1,846,163
外部顧客への売上高	1,522,527	250,391	—	1,772,918	73,244	1,846,163	—	1,846,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,380	444	—	8,824	—	8,824	△8,824	—
計	1,530,907	250,836	—	1,781,743	73,244	1,854,988	△8,824	1,846,163
セグメント利益又は損失(△)	61,713	7,815	△1,003	68,525	△3,868	64,657	△57,003	7,653

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,003千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,580,312	282,101	—	1,862,413	72,658	1,935,071	—	1,935,071
外部顧客への売上高	1,580,312	282,101	—	1,862,413	72,658	1,935,071	—	1,935,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	683	—	683	—	683	△683	—
計	1,580,312	282,784	—	1,863,097	72,658	1,935,755	△683	1,935,071
セグメント利益又は損失(△)	50,732	△466	△5,273	44,992	5,493	50,486	△47,095	3,390

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,095千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	23,580千円	25,008千円
のれんの償却額	2,030	2,030

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。